

ただいま！！！！

お久しぶりです。土屋です。

10月2日土曜日、カナダ遠征組は無事帰国しました。

いつのまにか中日が優勝してましたね。

とても充実していて、忙しくて、疲れて、楽しくて、あっという間の一週間でした。
報告レポート書きます。

1日目。

9月26日(日)。

11:55にセントレアに集合しました。

高濱先生は金曜日に一足早く日本を発たれたので、ここで集まったのは高橋先輩、久保先輩、池永先輩、私と、添乗員の松原さんの5人です。

5人で、12:55に成田行きの飛行機に乗りました。

飛行機に乗るとき、荷物を預けますが、無料で預けられるのが一人23キロまでなのだそうです。

久保先輩の荷物が2キロほどオーバーしました。

実際23キロというのはかなり重いのですが、我々の荷物も相当重かったようです。私も22.8キロというギリギリでした。

仕方がないので、久保先輩は柔道着を一着手荷物として機内に持ち込むことになりました。今更ですが、柔道着がきっちり2キロあったのに驚きました。乾いててもか...

成田に着き、免税品店をブラブラ見て時間を潰し、次はバンクーバー行きの飛行機に乗ります。

この空の旅は、自分との戦いでした。

日本時間で夜の6時に成田を出発し、約8時間飛び、バンクーバーの現地時間で朝の10時に到着するのです。

ということは、8時間のフライトでしっかり寝ておかなければなりません。

結局、全員ほとんど眠ることはできませんでした。

私なんて、首にエアクッション巻いて、アイマスクして、耳栓までつけたのに、せいぜい1時間しか眠れませんでした。

光も音もない孤独な世界で、ひたすら眠るために神経を集中させていました。

勝てませんでした。

眩しい(凶悪な)朝の陽ざしを浴び、カナダの地に降りました。
バンクーバーからケロウナへ移動し、ケロウナで2日間ホームステイさせていただくウッド渚さん宅に行きました。超豪邸でした。
荷物を置いてすぐに柔道着に着替え、道着のままケロウナ柔道クラブに向かいました。

ケロウナ柔道クラブの道場はそんなに広くはありませんでしたが、強そうな大人の人がたくさんいました。

準備体操、往復運動の後、二人一組になり寝技の打ち込みをしました。
先輩達が、立ち技から三角に移るやつと、SRTの説明をして、その練習もしました。
寝技の次は、高濱先生が立ち技の打ち込みの指導をされました。
ケロウナ柔道クラブの人は、全員とても熱心に先生方の説明を聞いていました。
寝技の打ち込みをやっているときも、もう一回やって見せてくれとか、このとき右足はどうするのかとか、これで合っているかとか聞かれました。
私の英語はひどかったです。それでも聞きながら聞いてくださいました。や、やさしい...

私達全員にお土産もくださいました。
ケロウナ柔道クラブの皆さん、本当にありがとうございました。
もっと英語が話せたら...せめて中学生レベルの文章くらいスラスラ出れば...
常にそう思いました。

関係ないですが、私の打ち込みの相手は、スキンヘッドのマッチョで紳士でハンサムな男性でした。カッコよかったです。

夜はウッド渚さん宅で豪華な夕飯をいただきました。
渚さんの知人の方々もいて、大勢での食事会となりました。
夕飯の後も、柔道VS少林寺や、スウィングダンスや、sushi談義など、楽しい時間を過ごしました。

長い一日でした。
久保先輩はスーツケースから2キロの柔道着を取り出し、池永先輩はホームステイ経験があることを師範に突っ込まれ、高橋先輩はわりとガチで腕相撲をし、私はハイキックを食らいました。
30時間以上ぶっ続けで起きていました。

すみません、無駄に長くなってしまいました。
次はもっと簡潔にまとめて書きます。

土屋です。続き書きます。

2日目。

朝日が湖に反射し、少し肌寒く、さわやかな朝でした。

ケロウナ市長表敬訪問のため市役所を訪れましたが、市長とはすれ違ってしまったようで、お会いすることはできませんでした。

ケロウナは春日井市と姉妹都市で、市役所の敷地内にカスガイガーデンという立派な日本庭園がありました。

私達がカスガイガーデンを散策している間、高濱先生は市長室を見学（秘書の方は許可しなかったそうですが）していたらしいです。

私達は春日丘高校の学生とケロウナの学生との「友情の輪」と書かれた記念碑を見たりしていたので、詳しいことはわかりません。

次にりんご園に行きました。

りんごはケロウナの特産品だそうです。最近では外国の安いりんごがどんどん輸入され、経営が非常に厳しいそうです。

そんな話を陽気なガイドのおじさんがしている間、高濱先生は木になっているりんごを取る振りをしたりして、ガイドさんに「ノー、ノー」と言われていました。

リアルに熊が出そうだったので、みんなカメラを構えていました。

私達の結論は、たとえ巴で投げたところで熊にダメージを与えることはできないだろう、でした。

次にワイン工場に行きました。

おいしいワインをいただきました（私以外）（私はマスカット味のフローズンをいただきました。おいしかったです。）

高濱先生はとっ...ても上機嫌でした。

夕方、バーノン柔道クラブの方々が豪華な懇親会を開いてくださいました。

私達はバラバラに座り、みな自身の英語力を発揮しました。

こんな かんたんなことも えいごでいえない わたし ...

抜き打ちテストを受けている気分でした。

語学は継続が大事ですね。ほんっとに簡単な単語すらスッと口に出すことができませんでした。

そんな私の英語も真剣に聞いてくださって、また私が聞き取りやすいようにゆっくり喋ってくださって、本当にうれしかったです。

申し訳ないくらいでした。ありがとうございました。おかげ様で、とても楽しい夕食会でした。

その後、柔道の練習をしました。

バーノン柔道クラブは人数が多く、ちびっこから大人まで大勢いました。

外国の子供ってどうしてあんなに可愛いんだろう。

真っ白な柔道着を着て走り回っているところとか、あれ？天使がいっぱいいるぞ？？って感じでした。

往復運動、高濱先生の打ち込み指導、寝技乱取り、立ち技乱取りをやりました。

寝技乱取りで相手になったおじさんに、「ユーアーストロング！」と言われました。

嬉しかったので「オーセンキュー」と返しました。私の語彙力などこの程度です。

ここでも、お土産をいただきました。

バーノン柔道クラブのみなさん、本当にありがとうございました。

ああー簡潔にまとめて書くと言ったのに、2日目のことだけでこんなに書いてしまいました。

すみません、それだけ充実していて、中身の濃い一週間だったということが伝わればと思います。

次こそ写真を入れます。多分....

許してください。

レポート に続く。



こんにちは、土屋です。

更新がとんでも遅くてすみません。報告書が先に出来上がっちゃいましたね...

レポート です。ラストです。
長いですが、最後までお付き合いいただければ幸いです。

3日目。

ケロウナを発ち、カムループスへ。
ケロウナでお世話になったみなさん、ありがとうございました。
とりわけ、2日間ホームステイさせていただいた、渚さん、ハロルドさん、本当にお世話になりました。
またカナダに行く機会があれば、必ずご挨拶に伺います。
...と思っていたら、春日井まつりのケロウナブースを担当するため、先日渚さんが来日されていました。
なので、高濱先生と松原さんと私たちカナダ遠征組で、挨拶に行きました。
思ったより、カナダは近いのかもしれない。
お金貯めて、絶対またケロウナに行ってやる！！

カムループスへ向かう途中、迎えに来てくださったヘンリー上田さんがたと一緒にサーモンの産卵を見ました。
今年は当たり年だったらしく、観光客がたくさんいました。
1ヶ月後がピークだそうです、私たちが見た時点で既に立派なサーモンが大量に泳いでいました。
途中で力尽き、川に流されていくサーモンたちが切なかったです。お疲れ様...

カムループスに着き、カムループス柔道クラブに行きました。
SRTや横帯取り返しの指導、高濱先生の立ち技指導、立ち技打ち込み、立ち技乱取りをしました。
打ち込みで組んだ女の子が、打ち込みをしながら「難しいね」的なことを言いながらはにかんでくれたり、私が打ち込みをやると「グッジョブ！」とか言いながら笑ってくれたりして、私自身は英語なんて全然喋れてないのに、ほぼ完璧に意思疎通が来ているような気がして、柔道ありがとうございました。
乱取りでは、向こうは男性メンバーが大勢いるのに対し、こちらは高橋先輩だけなので、みんなで高橋先輩を取り合っていました。
みんな柔道が大好きなんだということがよくわかりました。

スポーツでは何でも言えることかもしれないけど、言葉なしでこれほどお互いの気持ちが

分かり合えるってすごいことだと思います。

特に柔道は、しっかり組んで、普段の生活よりもずっと近い距離で接することができるので、柔道を通してコミュニケーションができて本当に良かったです。

柔道クラブの後、カムループスでホームステイさせていただくデンジさんの家に行きました。

デンジさんはとても明るく、豪快な人で、とても楽しい時間を過ごしました。

元オリンピック選手(!)のデンジさんの奥さんが銃で仕留めた(!?)熊の毛皮や、鹿の角などを見せてもらったり、その鹿のジャーキーを食べさせてもらったりしました。

みんな熊の毛皮を背負い投げしていました。毛がゴワゴワしていて、すごいいリアルでした...って本物なんですけどね。

デンジさん家の犬の「チョウナン」がめちゃくちゃ躰がしっかりされててびっくりしました。

口にジャーキーくわえたまま「Wait」で10分待てるそうです。私より賢い。

私も真似してお手とか伏せとかやってみました。お手も伏せもすぐやってくれたけど、「Wait」は絶対やってくれませんでした。

4日目。

高濱先生が以前お世話になったヨシ吉田先生のお見舞いに、老人ホームを訪問しました。

吉田先生は、高濱先生が単身カナダに渡ったときにホームステイし、その後も高濱先生が連れられた学生を受け入れられたりと、高濱先生の恩人だそうです。

老人ホームでは、私が他のおばあさんたちと身振り手振りで話をしている間、久保先輩と池永先輩はホームの看護師さんから色々話を聞いて勉強していました。

お昼はA & Wというハンバーガーショップでごちそうになりました。

上の写真の、右下の左のサングラスのナイスガイ・リックさんは、カムループスでの車移動をほとんど運転して下さった人です。

リックさんはこの辺りのA & Wのエリアマネージャーだそうです。

某マク○ルドより健康志向で、比較的大人をターゲットにしているというA & Wの、ハンバーガーを3枚挟んだバーガーには若干ビビりましたが、私はチキンバーガーとフライドポテトにチーズを乗せたやつをととてもおいしくいただきました。

吉田先生の奥さんがお弁当を作ってきてくださって、それもものすごくおいしかったです。ごちそうさまでした!

午後は、カムループス柔道クラブとの懇親会がありました。

柔道クラブの人たちと話しながらの楽しい夕食会だったのですが、最後のデンジさんのスピーチでぐぐっときて、ヘンリー上田さんのスピーチで止まらなくなりました。号泣でした。

デンジさんが「私たちのことを忘れないでいてくれたら嬉しい」と言ってくれて、今日の日のことはもう絶対忘れないだろうと思いました。

上田さんに「何にもしてあげられなかったけど」と言われてしまって、何と云えばいいかわかりませんでした。

カナダに着いてから、私たちはしてもらうばかりでした。

もう泣けて泣けて...笑って「Thank you」と言いたかったのに、まともに喋れませんでした。

5日目。

カムループスを発ち、バンクーバーへ。

デンジさん宅での最後の朝でしたが、高橋先輩はデンジさんの娘さんのカイヤちゃんに最後まで怖がられていました。

私も決して懐かれることはなく、目が合うとすぐ「マ～マ～」と助けを呼ばれましたが、高橋先輩は、デンジさんが抱っこしながら「ドラゴン！ドラゴン！」と言っても号泣・絶叫というどうしようもない状態で、普通にへこんでいました。

お別れするとき、奥さんが私たちみんなを抱きしめてくれました。

本当にありがとうございました。お世話になりました。

また行きます。絶対行きます。

次はもっと英語が話せるようにします。

空港まで、上田さんとリックさんが見送って下さいました。

何から何まで、本当にありがとうございました。

また泣きそうになりました。

バンクーバーに着くと、現地のJTBの方が市内を案内して下さいました。

ブリティッシュコロンビア大学はものっすごい広かったです。

どこから大学？ここは？ここは？と思ったところはだいたい大学の敷地内でした。

新渡戸稲造の日本庭園の入口で受付をしていたお兄さんが日本語ペラペラなのに分からないフリして面白かったです。

ホテルにチェックインした後は自由行動となり、ここで急いでお土産を買い込みました。

本当は買いたいものがもっとたくさんあったけど、飛行機での荷物の重量制限を考えると断念せざるをえませんでした。

ホテルに戻ってからは、またまた高濱先生のお知り合いであるブラッドリーさんと一緒に色々話しました。

ホテルの部屋からの夜景がやばかったです。

女子3人満場一致で、新婚旅行はカナダに決定しました。

6日目。

ブラッドリーさんが車で迎えに来てくださって、空港まで荷物を運んでもらいました。

空港に行く途中、道で知らないお姉さんが「オウ！ディスグリーンバッグイズナーイス」と私の緑のバッグ（千円@小牧のジャスコ）を指さしながら言いました。

いきなりでびっくりしましたが、嬉しかったので「オーウセンキューベリーマーチ」と返しました。

カナダの人は、ホントにみんな明るくて優しくてフレンドリーなんだなあと思いました。

空港に着き、飛行機に乗り、カナダの美しく広大な土地を離れました。

ありがとうカナダ。また絶対戻ってくるよ。そのときはよろしくね。

ただいま！日本！

ここまで読んでくださってありがとうございました。

このカナダ遠征で、私は本当に多くのことを学ぶことができました。

日本とカナダで違うところもたくさんあったし、全く変わらないこともたくさんありました。

日本という国をいつもと違う視点から見ることができ、新しい発見がいくつもありました。

自分の気持ちを言葉で表すことの大切さを感じることができました。

言葉が通じなくても、柔道を通して分かり合う気持ちがあることもわかりました。

このような経験をする機会を与えてくださった、ご賛同してくださったOBの先輩方はじめ柔道部関係者の方々、JTBの松原様、現地でお世話になった全ての方々に、心より御礼申し上げます。

そして最後に

高濱先生、本当にありがとうございました。
この旅で学んだこと全て、必ず次に繋げます。